

研究機関名：東北大学

受付番号： 2013-1-147
研究課題名 カルボプラチン・パクリタキセル併用療法の症例解析
研究期間 西暦 2013 年 7 月（倫理委員会承認後）～2015 年 3 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療記録、診療支援上のデータ、化学療法センターの記録） 上記材料の採取期間 西暦 2012 年 4 月～ 西暦 2013 年 3 月
意義、目的 カルボプラチン・パクリタキセル併用療法（TC 療法）は、微小管障害薬であるパクリタキセルに白金製剤であるカルボプラチンを併用した治療方法である。大規模臨床試験の結果を踏まえて国際的な標準治療法の 1 つとなっている。パクリタキセルの代表的な副作用には、骨髄抑制、神経障害、発熱がある。特に骨髄抑制による白血球減少で、感染症に対する抵抗力が低下してしまうため、治療を中止することが多い。しかし、TC 療法における副作用の発現状況、また副作用発現に伴う投与中止については、明らかとなっていない。本研究では、東北大学病院化学療法センターにおいて TC 療法を施行された患者のうち、投与中止となった症例の解析を行うこととした。この研究により、TC 療法を施行する上で注意すべき点やモニターすべき点が明らかとなる
方法 ・ 2012 年 4 月～2013 年 3 月までに東北大学病院でカルボプラチン・パクリタキセル併用療法を施行された症例を対象とする。東北大学病院化学療法センターのデータを使用する。 ・ 投与中止の原因をレジメンごとに分類し、症例数、患者数で集計する。 ・ 投与中止の原因と関連のある情報（検査値、患者背景、併用薬など）について調査する。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院・薬剤部 島田 美樹 TEL：022-717-7528 FAX：022-717-7545